

第三者評価の受審実績	平成 22 年度、23 年度、24 年度、25 年度		
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

## 【取材メモ】



### 取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価(自己評価)のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

## ■改善の取り組みとその成果③～主任を中心とする新しいプロジェクトの始動

月 2 回の職員会議のほか、主任を中心とするリーダー会議を月 2 回、利用者の支援に議題を絞った会議を隔月で実施しており、組織内のコミュニケーションは風通しのよい状態が保たれています。施設長は、新人もベテランも一支援者として対等な立場で意見を表明し、それをお互いに真摯な態度で聞き合える職員同士の関係性を構築することが組織力を高めるうえで重要と考えています。

利用者に対するサービスの向上を目的とした組織マネジメントの推進にあたり、施設長は主任の役割を重視し、リーダー会議には施設長はあえて入らず、基本的に主任に任せるスタンスを示しています。そうは言っても、けして丸投げするのではなく、主任との日常的なコミュニケーションを通じて相談を受けたり、必要な指導を行うとともに、外部研修を活用して、リーダーとしてのスキルアップの機会を提供しています。そうした取り組みの結果、主任を中心に新しいプロジェクトが動き始めており、今後、確かな成果を生み出すことが期待できる状況が生まれています。